

年 組 名前:

問1

「イグ・ノーベル賞」とは、
どのような賞でしょうか。

.....
.....
.....

問2

千葉工業大の元教授らが、
今回受賞となった研究は、
何について調べた内容でしたか。

.....
.....
.....
.....

取っ手は指何本で回す？

イグ・ノーベル工学賞
松崎(工大)教授ら受賞

【ニューヨーク共同】ユニークな科学研究などに贈られる「イグ・ノーベル賞」の授賞式が15日、オンラインで開かれた。円柱形の取っ手やつまみなどを片手で回す際に何本の指を使うのかについて調べた千葉工業大の松崎元教授らが「工学賞」を受賞した。

日本人のイグ・ノーベル賞受賞は16年連続。松崎氏は共同通信の取材に「研究は共同通信の取材に「研究の目的付け所が評価されてうれしい」と語った。

研究は、さまざまな太さの円柱を用意し、指を何本使って回すのかを分析。円柱が太くなるほど使用する指の本数が増えることや、円柱に触れる際の指の位置などを明らかにした。

人間は円柱の太さに応じて無意識に使用する指の本数を変えており、研究結果はふたなどを設計する際に役立つことができるとい

研究は松崎氏が千葉工業大の大学院生だった1998〜99年に発表した。受賞したのは他に、当時千葉工業大で松崎氏の指導に当たっていた大内一雄、上原勝、上野義雪、井村五郎の各氏。

イグ・ノーベル賞は、ノーベル賞へのパロディの意味合いも込めて米国の科学ユーモア雑誌が91年に創設。授賞式は新型コロナウイルスの流行を受けて2020年からオンライン開催が続いている。

(2022年9月17日付 山梨日日新聞 28面)

問3 この研究によって、何が明らかになりましたか。

.....
.....

問4 あなたが、おもしろい研究をしたら、どのような研究をしたいですか。

.....
.....